
特 集 脳卒中・循環器病を防ぐために

【巻頭言】

高 木 康 志 (徳島大学大学院医歯薬学研究部脳神経外科学分野)

西 村 明 儒 (徳島大学大学院医歯薬学研究部法医学分野)

この度は、脳神経外科学分野と法医学分野で脳卒中・循環器病の特集を組ませていただきました。循環器病に関しては、2018年12月10日の「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」の成立を受けて、国と全国各都道府県で循環器病対策推進基本計画が策定されました。また、徳島県を含め各都道府県で循環器病対策推進協議会も設置されています。このように昨今、循環器病を取り巻く状況は大きく変わりつつあります。今回、徳島県内のスペシャリストの先生方に脳卒中、循環器病の現状について解説していただきます。

島田健司先生には「脳卒中と循環器病克服5ヵ年計画」について、兼松康久先生には「徳島県循環器病推進計画の中での急性期脳卒中診療の取り組み」として国と

県の政策をもとに徳島の脳卒中治療について紹介していただいています。山本伸昭先生には「脳梗塞急性期治療」として進歩が著しい急性期脳卒中治療について解説していただきました。また、門田宗之先生には「心不全診療の現状と今後の地域連携」として最新の心不全治療について紹介していただいています。西村明儒先生には「被災地における突然死について」として、今後、南海トラフ地震の発生の可能性を踏まえ被災地における循環器病疾患に対する問題点について紹介していただきました。

この特集を読んで、脳卒中、循環器病に対する最新の知識を身につけ、日々の診療、研究の一助としていただけますと幸いに存じます。